

第193号
2025
11

ちょうなん きかい

議会だより



CONTENTS (主な内容)

- 令和7年第3回定例議会…………… 2
- 決算特別委員会 意見を付し認定すべきと決定 … 3
- 町政を問う！5人の議員が一般質問…………… 5

今月号の表紙

「よいしょ！よいしょ！」
みんなで力をひとつにして——
運動会本番さながらの練習の一コマ。
(撮影場所：長南保育所)

第3回 定例議会

[会期] 9月3日～10日
(8日間)



▲定例会本会議の様子



▲決算特別委員会委員長報告（鈴木委員長）

令和6年度会計決算認定の流れ

町長からの決算書の提出

本会議

- ・決算特別委員会の設置・付託

決算特別委員会

- ・質疑・討論 ⇒ 委員会採決

本会議

- ・決算特別委員会 委員長報告
- ・委員長報告に対する質疑
- ・討論 ⇒ 議案採決

令和7年第3回定例議会は、専決処分の承認1件、令和6年度各会計決算認定7件、条例の一部改正2件、補正予算2件、損害賠償額の決定及び和解1件、教育委員会委員の任命同意1件の14議案について審議しました。

令和6年度決算認定においては、内容が複雑多岐にわたるため、議長を除く9名で決算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。

審査の結果、全ての議案において、原案のとおり承認・認定・可決・同意となりました。

また、一般質問は5人の議員が行いました。

（5ページから掲載）

**《令和6年度決算認定》
町に対して審査意見を付し
全員一致で認定すべきと決定**

決算特別 委員会

9月4日、5日、8日
(3日間)

委員長に鈴木ゆきこ議員、副委員長に太田久之議員を選出しました。

初めに、令和6年度決算に対しての総括質疑を町長に行い、各会計決算については担当課に詳細な質疑を行いました。

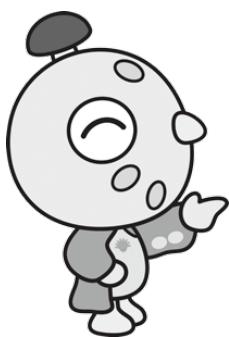
審査の結果、意見を付して、全員一致をもって認定すべきものと決定しました。

（審査意見は3ページに掲載）



一般会計

- 1 今後も人口減少等の影響により、自主財源の確保が一層厳しくなることが予想される。そのため、引き続き特定財源の確保に努めるとともに、各事業の執行にあたっては、計画的かつ持続可能な財政運営の観点から、事務事業の効果や緊急性を適確に見極めたうえで、適切な執行に努めていただきたい。
- 2 税負担の公正・公平の原則に基づき、関係法令を遵守しつつ、さらに未収金の解消に取り組まれたい。
- 3 ふるさと納税による寄附獲得のさらなる促進を図るため、返礼品の拡充・充実に取り組まれたい。
- 4 地域農業を維持するために、国県の補助制度などを活用して、新規就農者の確保や若手後継者の育成に努められたい。
- 5 町活性化に重要な地域おこし協力隊事業については、成果や効果を最大限に發揮していくために、住民との交流を深め認知度向上に努めて、事業展開に取り組まれたい。
- 6 町道の維持管理や改修・修繕についてはパトロールや住民からの通報も踏まえて速やかな処理を行われたい。また、架け替えや修繕が多く残っている町の橋については点検・修繕が必要なので予算確保に努め、計画の推進を図られたい。



7 有害鳥獣による被害の軽減を図るため、さらに狩猟者の育成および駆除活動の促進を行うとともに、民間企業と連携し、資源の有効活用に努められたい。

8 保育所および学校給食に関しては、米やその他食材の価格高騰が続く中、補助金等の活用により、十分な量と品質の確保に努めていただきたい。また、オーガニック食材の提供や地産地消を取り入れた食育の推進にも積極的に取り組まれたい。

特別会計（介護保険特別会計）

- 9 高齢化比率はさらに上がり、老々介護の増化に対応する介護サービスのさらなる充実を行うこと。また、認知症のさらなる取組として、予防や早期発見施策の構築に努められたい。

事業会計（ガス事業会計）

- 10 ガス事業については、町民に安価で提供されている。今後は電気エネルギーとの併用などの新たな活用を検討し、需要拡大と健全な経営の継続に向けて取り組まれたい。

令和7年長南町議会第3回定例議会 議決結果

議案番号	件名(内容)	議決の結果(※ ¹)
承認 第1号	専決処分の承認を求めることについて (特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 賛(9) 否(0)
認定 第1号	令和6年度長南町一般会計歳入歳出決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第2号	令和6年度長南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第3号	令和6年度長南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第4号	令和6年度長南町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第5号	令和6年度長南町笠森靈園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第6号	令和6年度長南町農業集落排水事業会計利益の処分及び決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
認定 第7号	令和6年度長南町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について	認定 賛(9) 否(0)
議案 第1号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (育児を行う職員の仕事と家庭の両立支援の拡充等による改正)	原案可決 賛(9) 否(0)
議案 第2号	長南町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について (マイナンバーカードを活用した医療費助成の利便性向上を図るための改正)	原案可決 賛(9) 否(0)
議案 第3号	令和7年度長南町一般会計補正予算(第3号)について (旧笠森ドライブイン解体工事、舗装修繕及び道路維持工事 他)	原案可決 賛(9) 否(0)
議案 第4号	令和7年度長南町介護保険特別会計補正予算(第1号)について (支払基金交付金の返還金、一般会計への繰出金)	原案可決 賛(9) 否(0)
議案 第5号	損害賠償額の決定及び和解することについて	原案可決 賛(9) 否(0)
議案 第6号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (現委員の金木武信(かねきたけのぶ)氏の再任)	同意 賛(9) 否(0)

※¹ 議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。在職議員10名(議員定数10名)

ここが聞きたい！

5人の議員が一般質問を行う

定例会の1日目及び2日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。件名について掲載いたします。

なお、一般質問は町政全般について、希望する議員が質問や提言を行うもので、制限時間は1人につき1時間です。

鈴木 ゆきこ 議員

P6

- 休日のデマンドタクシーの取り組みは
- 利用者の年齢制限の緩和は
- 豊原住宅の今後は
- 熊野の清水公園の管理は

加藤 喜男 議員

P7

- インター周辺の開発は
- スマートフォンなど最近の指導状況は
- 西消防署を借りては
- ★マイナンバーカード及びマイナ保険証について
- ★町活性化に係る支援事業の状況について
- ★買物支援事業の状況について

河野 康二郎 議員

P8

- 生成AIの活用環境の整備を
- 文字起こしツールの導入を
- マニュアルの策定、条例の制定を
- ★町ホームページにおける各種会議録の扱いについて
- ★非常備消防団について

安部 潤一 議員

P9

- 町の情報発信体制
- 空き家問題と景観・移住促進
- 農業の継続性

大倉 正幸 議員

P10

- 軽自動車税（種別割）の一部減免を
- 本町の人口減少について
- 保育園児や小中学生の減少について
- 小中学校の考えは
- 分譲地計画について
- 投票終了時刻の繰り上げを

一般質問は、質問者本人の原稿をそのまま掲載しています。

□印の質問は掲載された質問ですが、★印は紙面の都合により掲載していません。
詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。



休日のデマンドタクシーの取り組みは

試験的に長南フェスティバルで運行



鈴木ゆきこ 議員

問 休日の町主催行事にデマンドタクシーが利用できるよう、利便性向上につながる取組みが出来ないか伺います。

企画財政課長

昨年、休日に開催した長南フェスティバルでは、試験的に運行した結果、5組の利用がありました。

今後も利用者ニーズ、タクシー事業者との連携を踏まえた中で、休日に開催する町全体に関わる大規模な行事を中心に、運行の要否を判断していくま

問 休日の町主催行事にデマンドタクシーが利用できるよう、利便性向上につながる取組みが出来ないか伺います。

企画財政課長

地域公共交通活性化協議会で協議

そこで、利用者の年齢制限の緩和ができるないか伺います。

建設課長

不動産業者などを紹介

問 デマンドタクシーの登録者数は7月24日現在で961人ですが、65歳未満の免許のない方でバスの運行状況が変更などにより、不自由を感じている方がいます。

問 廃止の通知から2年半が経過していますが、現在の状況と廃止後の土地活用について伺います。

利用者の年齢制限の緩和は

豊原住宅の今後は廃止の通知から2年半が経過していますが、現在の状況と廃止後の土地活用について伺います。

熊野の清水公園の管理は

問 完成して20年が経過した公園の維持管理は、どの様にしているのか伺います。

問 完成して20年が経過した公園の維持管理は、どの様にしているのか伺います。

問 不動産業者などを紹介

47戸中、20世帯34名が入居しており、そのうち11名が単身者ですが、茂原市の不動産業者や長柄町、大多喜町の町営住宅を紹介しています。

産業振興課長

町シルバ一人材に委託

人材センターが管理をしており、業務内容は、園内等の草刈りや花壇の草取り、また、池や花バス圃場の雑草の処理を、年6回それぞれ実施しています。



インター周辺の開発は



県と協力して企業誘致に取り組む

ジ周辺への進出企業の
あっせんを強く要望
し、開発の推進に努め
ています。

そうした状況の中、
最近の児童・生徒への
指導状況をお聞きしま
す。

また、全校児童・生徒を対象にスマートフォンの安全教室や全校集会の場にて注意喚起などを行っています。保護者に対しても、

問 在の西消防署は、近い将来、現
不要となります。耐震性の問題もあると思いますが、使わないのなら貸してもらうことができるのか伺います。



このことから組合も再活用は考えていました。

昭和47年に建設され
53年が経過していることから、耐震基準も満たしていなく安全を確保できません。

西消防署は、長生郡市広域市町村圏組合の所有となっています。

活用は考えていく せん

る企業が見つからない
状況となっています
が、高速道路インター
チエンジ周辺という立
地条件の強みを活か
し、引き続き、県と協

教育課長

携帯電話の扱い方に関する講演会を開催しています。その他、県民生活課による青少年ネット被害防止対策事業(ネット・パトロール)

総務課長

る企業が見つからない状況となっています

保護者にも講演会を

携帯電話の扱い方に關する講演会を開催しています。その他、県民

活用は考えてません

(7)

生成AIの活用環境の整備を



ガイドラインの策定と研修で

①現在、町では行政向けに特別に提供されている「対話型A I」を試験的に利用しています。そのほかにも、同じように文章作成や検索を助けてくれるA Iサービスを活用できるよう、複数の選択肢を用意しています。

②現在の注意事項を

現在、職員が作成した試験運用中のソフトを使用し、年内導入を目指しています。今後の選定にあたっては、ツールの進化、必要性から広く情報の収集を行いたいと考えています。

本町における
ラ防止に向け
り組みを同
い、②対応マ
ニュアルの策
定・防止条例
制定を提言し
ます。

問 活用状況、②ガイドライン策定の必要性、③職員育成のための研修の充実について伺います。

ト活用で	試験運用中のソフト	問 の導入を
	ツールの活用、 導入を提案します。	文字起こしツール

う。）を許さない社会認識を共有化することが重要だとされ、様々な媒体・現場での啓発教育を行うことで理解を深め、防止に資することができるとして、国・自治体・民間企業等で取り組みが進んでいます。

イドラインとして運用することを考えています。

マニュアルの策定、 条例の制定を

研修の継続と対応
マニフェアル策定で



▲カスハラ防止対策の周知・啓発ポスター (消費者庁ホームページより)

研修の継続と対応マニュアル策定で
総務課長

為等について、明文化することで幅広く効果が期待されます。一方、カスハラ行為を認定するための基準及び公示表、または警告など様々な規定について慎重に検討する必要があることから、現時点では、カスハラ対応マニュアル策定を優先的に考えています。

マニュアルについては、基本的な対応方法や組織的な考え方等を整理し、調査、研究等を進め策定したいと考

①令和6年12月に、全職員を対象としたカスハラ研修を実施しました。

カスハラ研修については、各種研修とバランスを考慮し、適切な時期に繰り返し実施をするよう努めていきます。

②カスハラ条例は、民間事業所を含めた町内におけるカスハラ行

町の情報発信体制



DX推進計画の中で検討

問 一
報が探しにくい」「町外への発信が少ない」という声があります。防災・移住・観光など、町の将来に関わる情報をわかりやすく発信する体制づくりが必要です。役場全体の情報発信をまとめる組織の設置、人材の確保や育成、ホームページやLINEの改善、町民の声を取り入れる方法について伺います。

アンケート等を検討し、町長室開放や座談会も継続して取り組んでいきます。

画（デジタル技術活用の推進計画）の中で、SNS活用や統括体制を検討し、ホームページ刷新は現時点で未定ですが、DX推進の中でも検討します。

して活かす取組が急務です。

を依頼しており、対応が進んでいます。

なんですが、谷津田などでは借手不足が課題です。担い手確保は協力隊募集や新規就農支援を継続し、レンコン農家支援にも力を入れています。

協力隊の活用と連携を視野に推進

を依頼しており、対応が進んでいます。

んでいますが、谷津田などでは借手不足が課題です。担い手確保は協力隊募集や新規就農支援を継続し、レンコン農家支援にも力を入れています。

な柱です。近年「田んぼをやめたい」という声や耕作放棄地の増加への不安が広がっています。農地の集約、相手の確保、新しい農業の推進が急がれます。

農地集積率向上の取組、協力隊・新規就農者・企業参入による相手確保、スマート農業や有機農業推進の方針について伺います。

んでいますが、谷津田などでは借手不足が課題です。担い手確保は協力隊募集や新規就農支援を継続し、レンコン農家支援にも力を入れています。



長南町議会をもっと身边に 議会が自宅で見れるようになります

これまで議場まで足を運ばないと見られなかった町議会の様子を、これからは ご自宅のパソコンやスマートフォンで見れるようになります。

現在、年度内の開始に向けて準備を進めています。

会議の様子を生中継で見ることができるだけでなく、録画配信でも視聴できるようにする予定です。



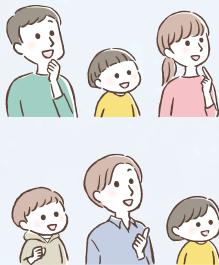
この取り組みで、お好きな時間に、何度でも繰り返しご覧いただけるのが大きな特徴です。

また、今後の議会報には議員ごとの質問をまとめた QR コード を掲載する予定です。スマートフォンで QR コードにかざせば、その場で議員ごとの動画を見るることができます。

準備が整い次第、町ホームページでお知らせいたします。

長南町議会は、これからも町民の皆さんにとって わかりやすく、身近な存在となるよう取り組んでまいります。



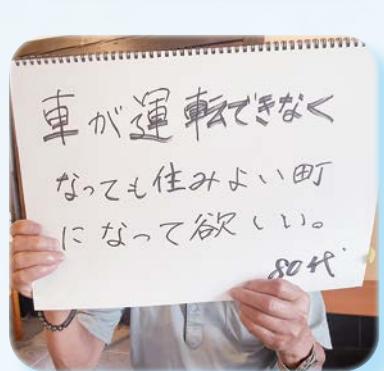
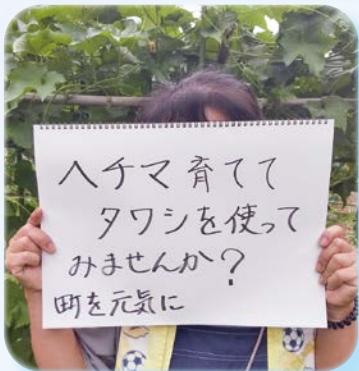


町議会議員が聞く！街頭インタビュー

ちょうなん町民の みなさまの



議会・議員へ期待すること（やってほしいこと）を街頭インタビューしました。



今回のインタビュアーは私たちで

12月3日(水)から

開会の予定です。

次回の定例議会は

[8月]		議長・議員が出席または参加した主な行事						
3日	一宮町花火大会（松野議長・河野副議長）							
11日	郡町村議会議長会臨時会（松野議長）							
18日	長南町花火大会（松野議長・河野副議長）							
22日	議会全員協議会							
28日	議会改革特別委員会 第2部会							
3日	議会運営委員会							
4日	議会改革特別委員会 第1部会							
17日	郡町村議会議員・事務局職員合同研修会							
10月	第3回定例議会（～10日）							
3日	常任委員会「総務経済・教育民生」							
4日	決算特別委員会（～8日）							
11日	議会改革特別委員会 第2部会							
18日	長生郡市議員会地区交流会							
23日	議会広報特別委員会							
7日	議会改革特別委員会 第2部会							
11日	長南保育所運動会（松野議長・岩瀬議員）							
18日	長南小学校運動会							
23日	議会広報特別委員会							

長南町議会広報特別委員会

発行責任者 松野唱平
委員長 太田久之
副委員長 鈴木ゆきこ
委員 加藤喜男
同 河野康二郎
同 安部潤一

「暑さ寒さも彼岸まで」は、季節の移り変わりを表す言葉です。つい一ヶ月前までは、エアコン無しでは過ごせませんでした。ところが今や、ストーブが必要な時期になつてしましました。

秋冬野菜のシーズンになりました。私は野菜作りが楽しみで、大根、白菜、キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ、ニンニクなどの野菜作りに励んでいます。千枚漬けが美味しいことから、聖護院大根も作ります。

野菜作りは稻作よりも難しいと思います。土作りから、苗づくり、防虫・防菌、除草、追肥など大変です。品種ごとに知識と経験が必要です。あわせて忍耐も必要です。

ご同輩の皆さま、ゴールは近くなりました。野菜作りをされている方々は元気な人が多いと思います。共に頑張りましょう。

委員のひとりごと